

黒 須 田 小 学 校

食育財団所有貸し出

し教材 レプリカを

使用しました！

～食育をテーマとした「総合的な学習の時間」～

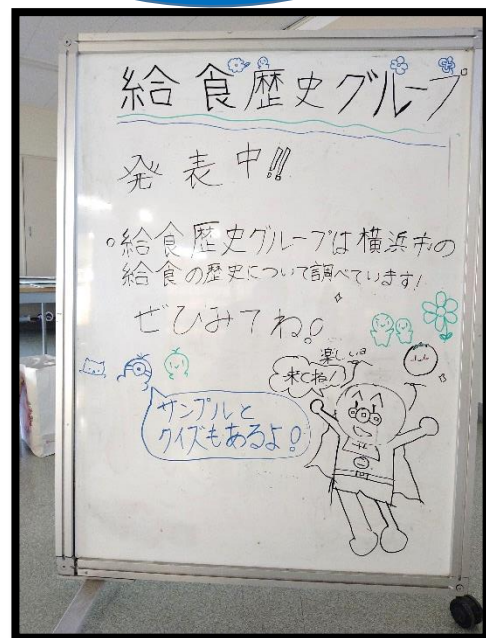
本校では、生活科や総合的な学習の時間等と関連付けた児童
発案の独自献立の実施や児童が校内で栽培している食材を使っ
た給食の提供等を行っています。子どもが主体的に「食」につ
いて考えられるように工夫しています。

ピックアップ！

【給食の歴史を調べたグループを紹介します】

5年生が秋に行われた「黒須田チャレンジ学習祭 2022」で食

育財団の資料（レプリカと献立パネル）を使い給食の歴史について発表を保護者や校内の他学年に
伝えました。



脱脂粉乳・くじら

肉ってなあに？



5年生が給食の歴史を調べました。明治22年から平成27年のレプリカの中で

特に全校に伝えたい給食を児童がピックアップしました。

それぞれの年度の特徴やオススメポイントをiPadやテレビ画面を使いながら説明します。

献立パネルも表示しました→



昔の給食は初めて見るけど
おいしそう。1.2年生も
興味深々でした。
大好評です。

レプリカ・献立パネル両方あったので説明しやすいな。事前アンケートで保護者の思い出の給食について聞き、横浜市以外の地域の給食についても調べました。



5年2組 農業給食調査隊

こんなゴールを目指して活動しました。

給食の歴史を調べることは学校給食の思いや努力を知ることになります。

～深い学びの実現した姿～

学校給食に込められた理念を調べたり、給食に関わる人々と触れ合ったりすることを通して、給食への関心を高め、食べ物や食に携わる人々への感謝の気持ちをもつことができるようにしたい。また、自らの食生活を見直し、自分の体に必要な栄養素を進んでとろうとしたり、横浜の野菜作りに誇りをもち、地産地消やフードロス削減を心がけたりする姿にも期待する。